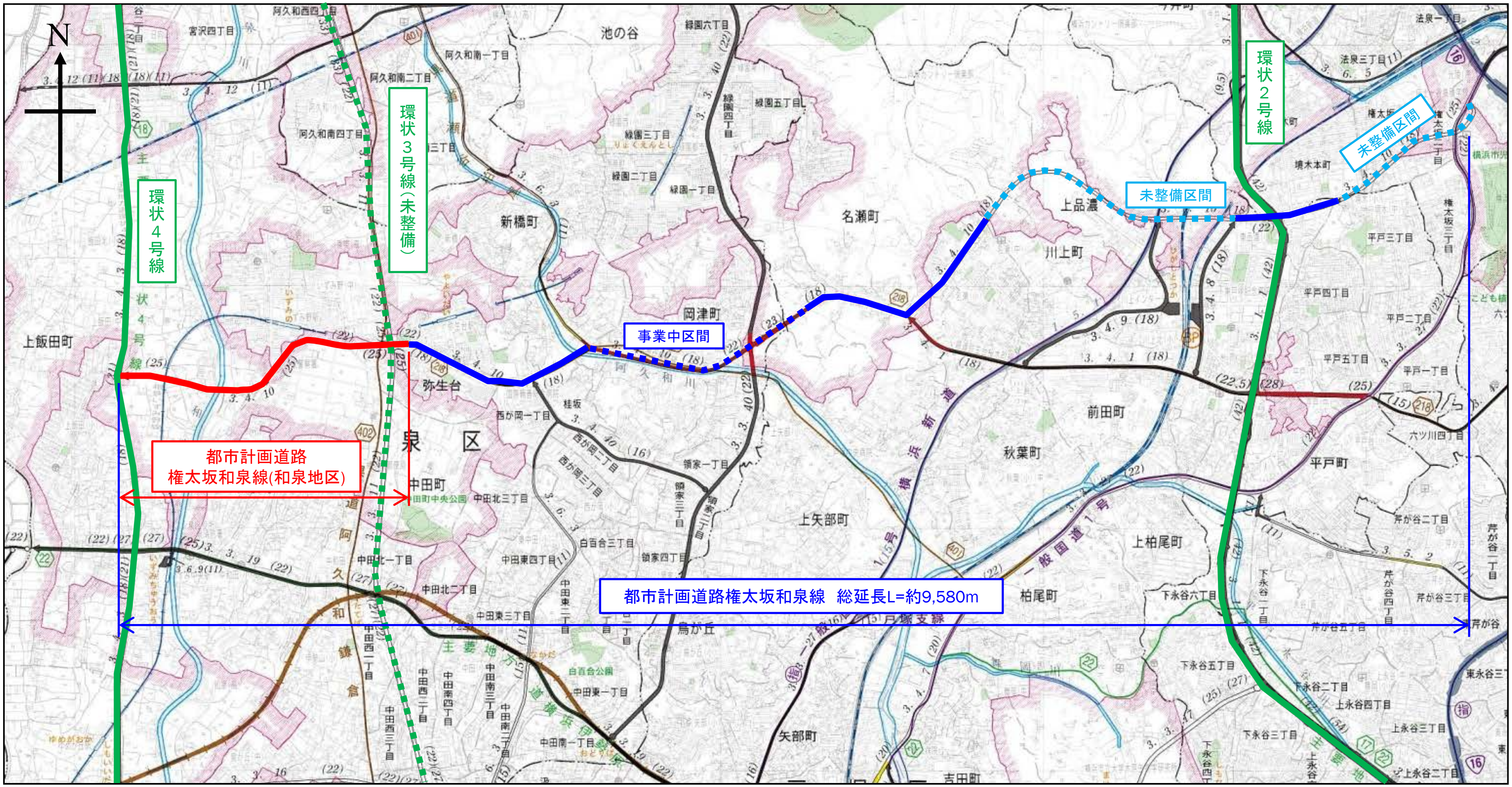
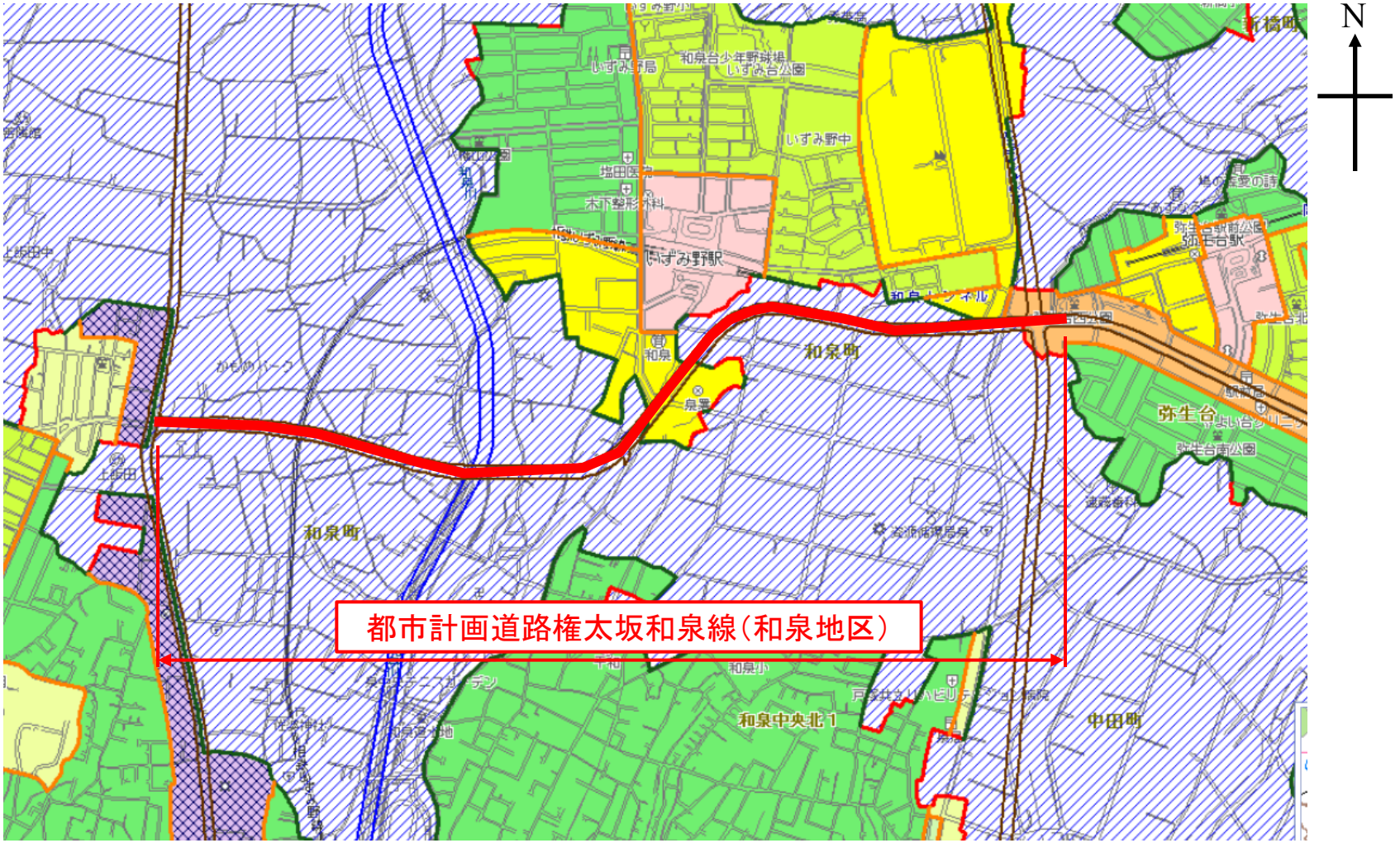
事 業 概 要

ふりがな	よこはましどうろきょく
応募者名	横浜市道路局
ふりがな	としけいかくどうろごんたざかいずみせん（いずみちく）
事業の名称	都市計画道路権太坂和泉線（和泉地区）
ふりがな	よこはまし
事業主体	横浜市
ふりがな	よこはまし
実施都市名	横浜市
事業概要 （400字以内）	本事業は、本市主要幹線道の1つで、保土ヶ谷区狩場町の国道1号から保土ヶ谷区境木本町の環状2号線を経由し、泉区和泉町の環状4号線に至るまでの約9,580mの区間となっており、本市中部地域と西部地域を連絡する路線です。このうち和泉地区は泉区の東西を結ぶ路線であり、交通の利便性を向上するとともにネットワーク機能を強化することで大きな整備効果を発揮できます。また、震災時に避難路・緊急輸送路として環状2号線から環状4号線を結ぶ道路となり、消火・救助活動その他の応急対策（情報伝達、物資・人員輸送等）を行う緊急車両の輸送機能を確保することで、災害活動に寄与する重要な路線となります。
事業規模	○事業延長：1,850m（H30開通区間1,070m） ○事業費：約94.6億円 ○幅員：22～25m ○事業期間：平成2年3月31日～平成31年3月31日まで
事業の目的	・泉区の東西を結ぶ路線であり、交通の利便性を向上するとともに、道路ネットワーク機能の強化を目的としている。 ・当該地区は環状3号線（未整備）から環状4号線を結ぶ道路となり、第2次緊急輸送路としての役割を担っている。
事業効果 （効果一覧を参考に 具体的な効果を記入）	・第2次緊急輸送路としての役割 ・周辺道路の渋滞解消（消防署からの緊急車両の出入りに苦労していたが、解消された） ・周辺道路の交通量減少による騒音・振動の低減 ・バスの定時制に寄与
地元対応等 ・地域住民との協働等 ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点	・約600mの区間で信号がない箇所があり、中間地点に歩行者専用の押しボタン式信号の横断歩道を設置することで地域の合意形成を図った。 ・新設橋梁の名称を決める際、地元住民から名称を募り、投票により決定したことで地元からの愛着が高まるよう配慮した。

事 業 位 置 図

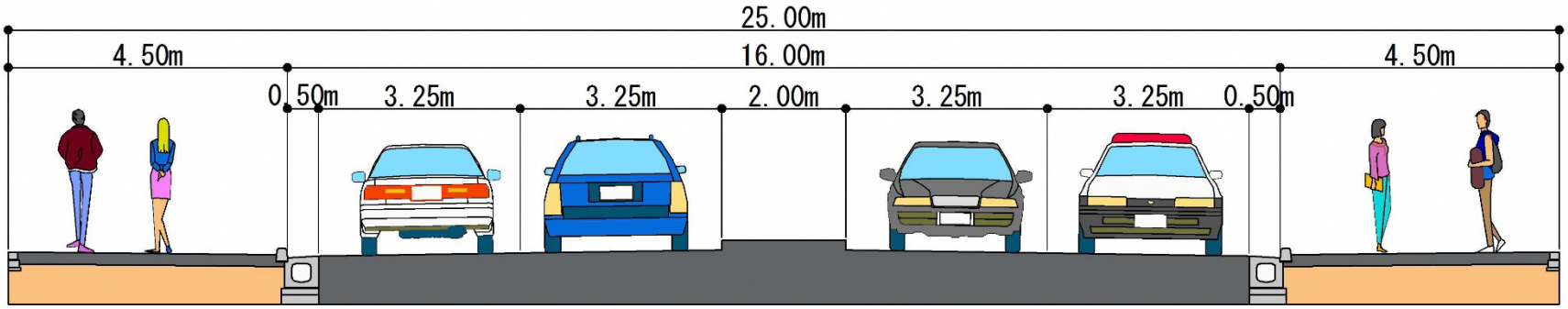

N
環状4号線
環状3号線（未整備）
環状2号線
事業中区間
未整備区間
未整備区間
都市計画道路
権太坂和泉線(和泉地区)
都市計画道路権太坂和泉線　総延長L=約9,580m
泉　区
上飯田町
池の谷
新橋町
名瀬町
上品濃
川上町
岡津町
弥生台
前田町
秋葉町
平戸町
上矢部町
上柏尾町
柏尾町
矢部町
中田町

都市計画図(用途地域図)

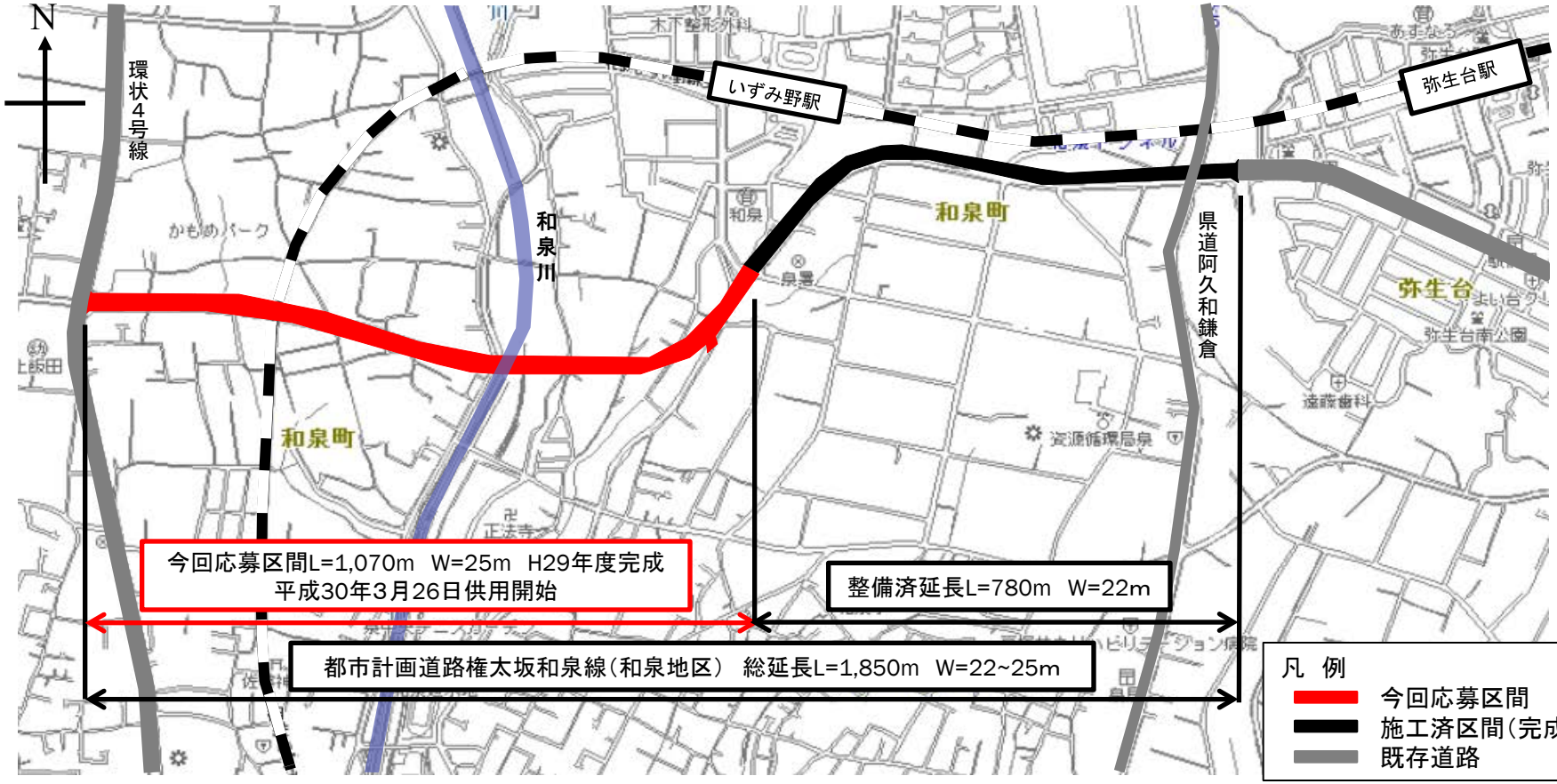


断面図

標準横断図



路線全体の進捗状況


N
環状4号線
いずみ野駅
弥生台駅
和泉川
和泉町
県道阿久和鎌倉
弥生台
和泉町
今回応募区間L=1,070m　W=25m　H29年度完成
平成30年3月26日供用開始
整備済延長L=780m　W=22m
都市計画道路権太坂和泉線（和泉地区）　総延長L=1,850m　W=22~25m
凡　例
今回応募区間
施工済区間（完成区間）
既存道路

事 業 前 後 写 真

全 体 写 真

写真撮影位置①

写真撮影位置①
（西部あやめ橋を望む）

整備前：平成27年３月撮影

整備後：平成30年10月撮影

写真撮影位置②

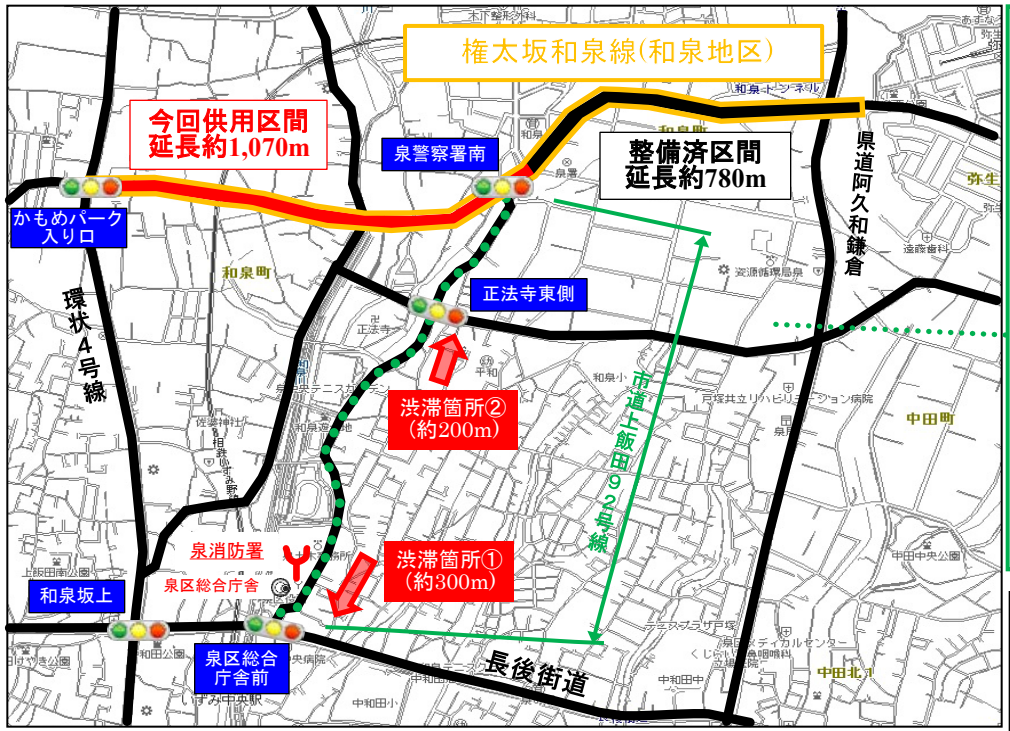
写真撮影位置②
（泉警察署方面を望む）

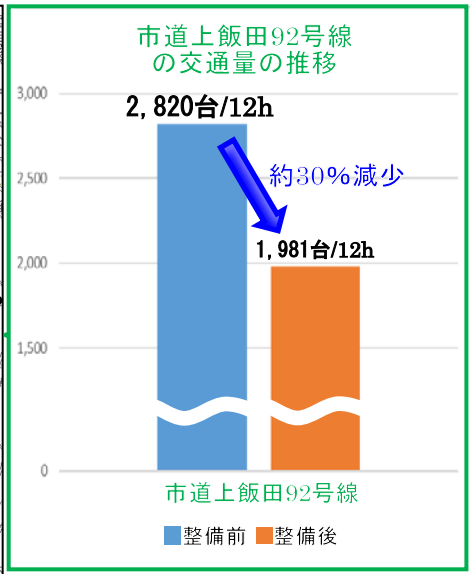
整備前：平成24年３月撮影

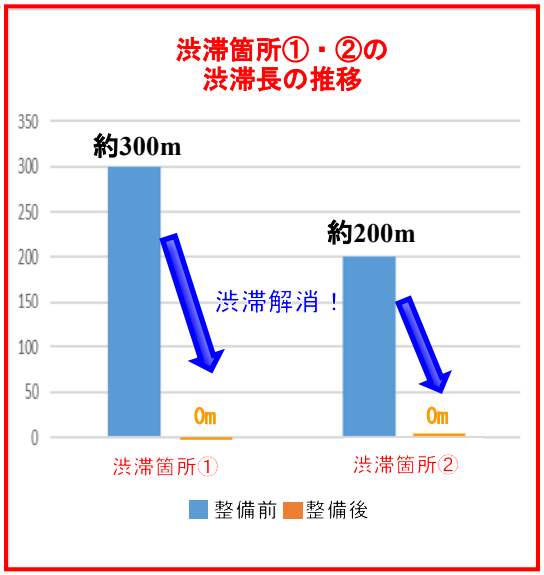
整備後：平成30年10月撮影

権太坂和泉線（和泉地区）の事業効果アピール資料

1．周辺道路の渋滞解消







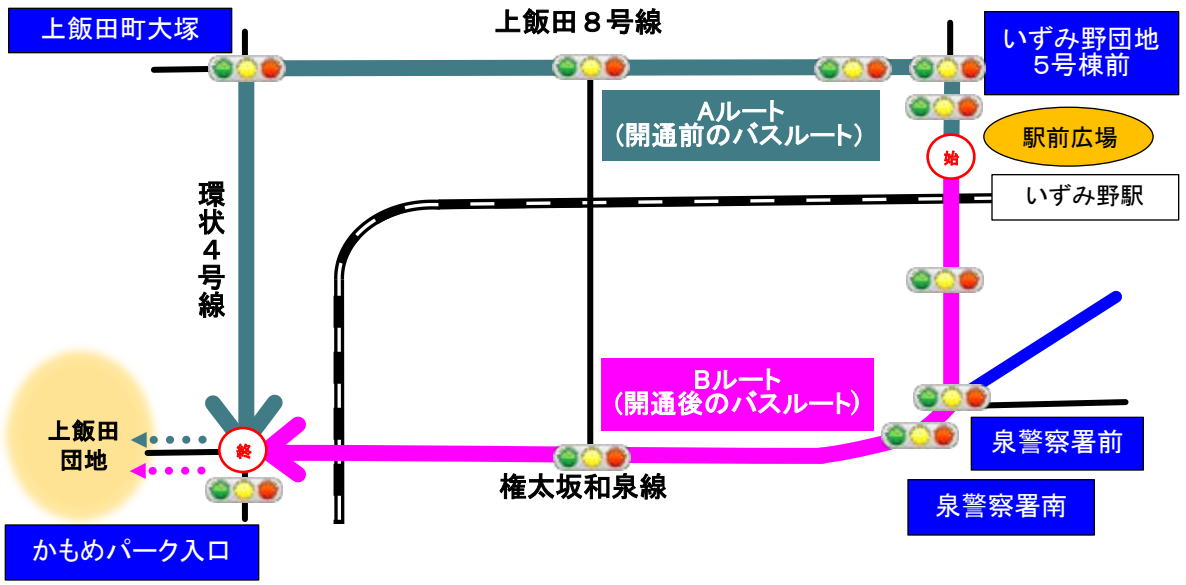
★交通量調査データ（平日12時間、片側断面）
泉警察署南交差点⇒泉区総合庁舎前交差点
整備前：平成30年2月8日（木）（7:00～19:00）
整備後：平成30年7月19日（木）（7:00～19:00）

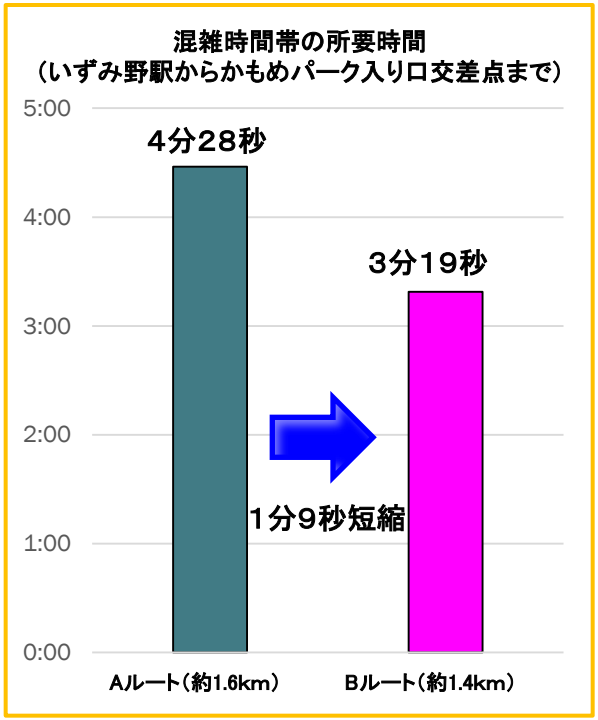
長後街道への抜け道となっていた市道上飯田92号線へ流入する車両数が減少し、2箇所の交差点の渋滞が解消しました。これにより付近の生活道路の交通量が減少し、騒音・振動の低減が図られています。

また、渋滞箇所①では、開通前は泉消防署前まで渋滞していたこともあり、緊急車両の出入りに支障をきたしていましたが、権太坂和泉線開通後は渋滞解消され、スムーズな出動ができるようになりました。（写真：泉消防署前）

権太坂和泉線（和泉地区）の事業効果アピール資料

2. 路線バスルート変更による定時制確保、所要時間短縮





★所要時間調査
調査日：平成30年8月3日（木）（16:00～17:00）
調査回数：往復2回測定

いずみ野駅から上飯田団地方面に向かうバスは、権太坂和泉線開通前は上飯田8号線から環状4号線を経由していました。（Aルート）
交差点の数が多いことや、朝夕の通勤時には環状4号線が混雑していたことから、ピーク時間では1～2分程度の遅れが生じていましたが、 開通に合わせてバスルートが権太坂和泉線（Bルート）に変更となり、定時制の確保が可能となりました。
　また、所要時間を調査したところ、BルートとAルートに比べ、約1分程度所要時間短縮が図られています。

受賞歴・報道資料

権太坂和泉線
和泉地区

30年の整備に終止符

3月26日に全線開通

区内の権太坂和泉線で、未整備となっていた和泉地区（弥生台から環状4号線かもめパーク入口付近）が、3月26日(月)に全線開通する。これで和泉地区における同線では工事が終了し、約30年をかけた都市道路整備が完了する。

権太坂和泉線は、保土ケ谷区狩場町を起点として、和泉町を終点にした9580メートルの都市計画道路。1990年に市道路建設事業団によって事業がスタートし、2001年に市道路局が事業を引き継いだ。

同線は市の東西を結び、幹線道路網の骨格として重要な路線の一つ。区内においては東西連絡網が強化され、渋滞緩和や抜け道対策などが期待されている。さらに、警察署や消防署など緊急車両の拠点がある主要道路としても、緊急時における現場到着時間の短縮などが期待される。

区内和泉地区は弥生台から環状4号線のかもめパーク入口までの1850メートルで事業が進められている。そのうち県道阿久和鎌倉の弥生台交差点から泉警察署までの780メートルが05年に開通した。

今回開通する区間は泉警察署前交差点付近と、暫定的に開通していたかもめパークから弥生台までの1070メートル。幅員25メートルで片側2車線の道路が完成する。

開通式典

供用開始となる3月26日を前に、前日の25日に開通セレモニーを行う予定。地元住民らが参加するテープカットなどが予定されている。26日の供用開始時間は未定。

同線を整備する市道路局建築課によると、当初の計画から完成が遅れたという。担当者は「地域の道路として、開通によって区内の連絡機能が強化できる。地域の人には長い工事期間を理解してもらい、感謝している」と話した。

工事中の泉警察署前交差点

タウンニュース（泉区版）2018年3月29日号